

10. 2017年度日本数学会賞建部賢弘 賞の授賞について

第22回にあたる本賞の2017年度授賞者の推薦募集は、会報163号で行いました（「数学通信」第21巻第3号）。受賞者と業績は次の通りです。（五十音順，敬称略，所属は受賞時点のものです）

特別賞

岩渕司（東北大理 准教授）：非線形発展方程式の適切性の実解析的研究

奥田隆幸（広島大理 助教）：不連続群と等質空間の組合せ論

楠岡誠一郎（岡山大異分野基礎科学研究所 准教授）：確率解析に基づく基本解の研究の新展開

水谷治哉（大阪大理 准教授）：シュレディンガー方程式に対するストリッカーツ評価

奨励賞

荒野悠輝（京大理 助教）：作用素環的量子群の研究

石田祥子（千葉大理 特任助教）：準線形退化型ケラー・シーゲル系の研究

金光秋博（東大数理 博士後期課程）：ファノ多様体に関するカンパナ・ペターネル予想と向井の問題への貢献

佐野昂迪（大阪市大理 講師）：同変玉河数予想とオイラー系，特に Rubin-Stark 元に関する研究

星野壮登（早大理工 学振 PD）：非適切な確率偏微分方程式の研究

三浦達哉（東大数理 博士後期課程）：曲げ，付着，張力エネルギーの形状に及ぼす効果の数学解析